

## 青葉かがやく頃—日本画で描く初夏の情景

会 期 2002年4月13日(土)～6月16日(日)

日本風土の特徴のひとつに、水と緑に恵まれていることがあります。花の季節の後、若葉が芽生え、淡い緑から濃緑へと移りゆくさまは、自然の芸術であり、木々の強い生命力を感じます。本展では、そうした初夏を彩る新緑や花々、爽やかな季節の情景を描いた日本画作品 58 点をご紹介します。

さまざまな緑色を使って描かれた初夏の風景には、心地よい風の流れることができます。風景や花が多く描かれる日本画に、緑は不可欠な色であり、絵具の種類も数多く、幅広い色の表現がなされます。中村正義《樹間》では、画面全体に緑のグラデーションが広がり、その中に光と風を見ることができます。前田青邨《牡丹》の葉は、たらし込みによる独特の表現ですが、主役であるはずの花よりも存在感が際立っているといえます。川合玉堂《踏車》の中で、苗、草花、木の葉の色を見事に描き分けています。

また、本展では風景・花・動物・人をキーワードに、作品を4つの主題に分類して展示します。主題が同じであっても、対象のとらえ方、描写方法は画家によって異なります。画家の眼が、どこにポイントを絞っているのか、考えながら作品と向き合うのも楽しいでしょう。

会 場 高崎市タワー美術館 (370-0841 高崎市栄町 3-23 電話 027-330-3773)

時 間 午前 10 時～午後 6 時 (入館は午後 5 時 30 分まで)

金曜日のみ午前 10 時～午後 8 時 (入館は午後 7 時 30 分まで)

休 館 日 毎週月曜日・祝日の翌日 (4/29、5/3～6 は開館)

会期中の休館日：4/15・22・30、5/7・13・20・27、6/3・10

観 覧 料 一般：500 円 (400 円)、大高生：300 円 (250 円)、中小生：200 円 (150 円)

- ()内は 20 名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方 1 名、65 歳以上の方、未就学児は無料となります

主 催 高崎市タワー美術館

後 援 朝日新聞前橋支局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、NHK 前橋放送局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎

企画協力 山種グループ